



令和6年(2024年)を

ロボット・ドローンの社会実装元年へ!



現状の取り組み

福島ロボット テストフィールド(RTF)



陸・海・空のフィールドロボットの
一大開発実証拠点。
2020年3月全面開所。



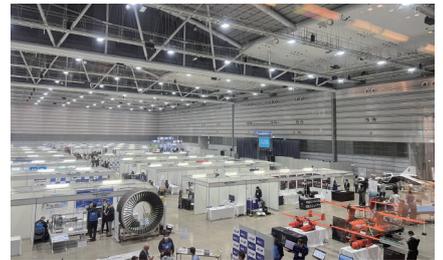
ロテフィー
RTF公式キャラクター

空飛ぶ牛井 in 南相馬



ドローンにより牛井を輸送する実証事業を実施。
ドローンサービス実装のため社会受容性の
向上を促進。

ロボット・ 航空宇宙フェスタ



ロボット・航空宇宙関連産業に関する
製品・技術が一堂に会する展示会を開催。

南会津実証フィールド



冬季間平均気温が
-2.3℃となる福島県
南会津町にある
「旧檜沢中学校」を
寒冷地実証フィールド
として提供

問い合わせ先：南会津町商工観光課
TEL：0241-62-6200

ユースケース 創出事業

ロボット・ドローンのユースケース創出を支援
するため、公募によるモデル事業を実施。実証
の成果を横展開し、ノウハウを県内に波及。

メイドインふくしま ロボット導入支援事業

福島県内で製造・開発されたロボットを福島
県内で事業活動のために活用することを目的
に導入する経費の一部を補助。
補助率1/2、一機種当たりの補助上限1,500万円

課 題

中山間地域における
物流・配送の確保が必要

産業集積・技術開発は進んだが、
実証から実装へフェーズの移行が必要

新技術実装連携“絆”特区による可能性

中山間地域における物流・配送の課題は、
ドローン配送の実現で解決

限定的なエリアでの事業展開から始め、運航環境や
安全対策の有効性を確保するノウハウを蓄積し

社会実装の「福島モデル」を示す

特区指定に伴う緩和の内容

- ① レベル4飛行が
エリア(面)での申請で飛行可能に
- ② レベル4飛行の際、
複数機体が同一日に同一エリアで飛行可能に
- ③ レベル3.5飛行でも
無人であることが確認できれば住宅地上空等も飛行可能に

ロボット・ドローンの社会実装の
「福島モデル」をつくり全国へ普及・展開